

新発田駐屯地記念行事で広報活動実施



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、5月12日（日）陸上自衛隊新発田駐屯地で開催された「陸上自衛隊新発田駐屯地記念行事 駐屯地開設66周年及び第30普通科連隊創隊57周年記念」において、航空自衛隊新潟救難隊（救難隊長 1空佐 門倉光慶）及び第30普通科連隊（連隊長 1陸佐 堀口大助）とともに、広報活動を実施しました。

記念行事は、記念式典から始まり音楽演奏と続き、その後訓練展示等が行われた。訪れた多くの観客は音楽隊の演奏に感嘆し、その後行われた訓練展示では、「155ミリ榴弾砲」の轟音が響き渡るなど、その迫力に驚いていた。また、訓練展示終了時には、「偵察用バイク」が自衛官募集の幟をかかげて颯爽と走行し注目をあびるなど、第30普通科連隊も募集活動をPRしました。



航空自衛隊新潟救難隊のブースでは、実際使用する重さ約25kgの救難装備品が入ったバッグを展示。新潟救難隊の隊員に手伝ってもらいバッグを背負った男の子は、その重さに驚きながらも救難隊員と笑顔で記念撮影を行っていました。



新潟地本の広報ブースでは、自衛隊の活動・任務等のパネル展示やスタンプラリーを設置し、ブースを訪れた親子連れなどへ自衛隊への理解の深化及び親近感の醸成を図りました。

制服試着コーナーに訪れた子供達は「迷彩服着てみたい」「海上自衛隊の制服かわいい」などと、嬉しそうに制服を着て、展示車両の前で記念撮影をしていた。また、制服を試着した若者達は、「映画のワンシーンのように、新発田城と自衛隊車両を背景にかっこよく写真を撮れました。本当に来て良かったです」と感動した様子で、広報ブースは身近な自衛隊をアピールでき大盛況となりました。



新潟地本は、今後も駐屯地行事や各種イベントを通じて、地域住民への更なる親近感の醸成及び防衛基盤の充実・拡大を図っていきます。